

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊休荒廃地を再活用し環境保全型里山有機農業を復活させて、 若者・被災農家の就農を支援するプロジェクト
事業主体 (連絡先)	NPO 法人食と農のまちづくりネットワーク (住所 上田市中央4-7-27 電話 0268-71-5355)
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	4,976,829円 (うち支援金: 3,505,000円)

事業内容

1. 講座、ワークショップの実施

移住者と地域の若者が一緒になって休耕地を再生するため、以下のワークショップを合計50回実施した。

参加者は計328人であった。

拠点づくりワークショップ、休耕地再生ワークショップ(たんぼづくり、畑再生、竹林整備と竹炭窯づくり)、獣害対策作物栽培ワークショップ(薬草、エゴマ)、地域づくりワークショップ。



【ワークショップ】

2. 座学(講座)の開催 計4回 参加者計126名

10/5 「エゴマの栽培と健康」村上守行さん 参加者29人

9/8 「薬草の話」三谷和男さん 参加者20名

11/20 「竹の話」吉田敏八さん 参加者25名

11/30 「エゴマの加工 エゴマを食べる会」平林葉子さん他 参加者40名+こども12名

3. 視察の実施 (参加者計38人)

9/15 「かみえちご里山ファン倶楽部」、「かみえちご地域資源機構株式会社」参加者21人、

12/26~27「株式会社ユーズ」参加者17人

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- 東日本大震災で被災した福島農家5件の円滑な受け入れと、移住者の地域での活用により、2.3haの休耕地の再生と活用が開始
- 地域作りワークショップを通じて、移住者、若者、地域住民と一緒に考える休耕地再生プランを作成
- 本プロジェクトによるたんぼ、畑づくりの参加者の中から、専業・兼業・自給的計7名の若い世代が農業に着手

【目標・ねらい】

- 塩田地区の休耕地の農地への再生
- 農業を希望する移住者の円滑な定着受け入れと移住者の能力の活用
- 若者、移住者、地域住民による休耕地再生プランづくり
- 里山暮らし、農業の知恵と技の継承

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

本プロジェクトを通じて、里山に囲まれた塩田地区への移住を希望する若い世代が増加して来たことを受け、今後は信州らしい里山での農ある暮らしを志望する若者の移住を促進するワークショップを継続的に行える体制を整備し、講座を継続していきたい。